

平成30年度 五ヶ瀬町立坂本小学校自己評価書

評価については、4段階評価（A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待以下 D：大幅な改善を要する） C、Dの評価については、理由及び改善の取組等を記述。

No	評価項目	評価	理由及び改善のための取組等
1	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	B	○ 満足度及び職員・子どもの態度では、ほとんどの項目で概ね前年度と同様の評価を得られた。ただ、全体的に0.1ポイントずつの低下が見られ、よりいっそうの努力が必要であると考え。
2	職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	A	○ 保護者アンケート、子ども達のアンケートの双方で、「困った時に先生は相談のつてくれる。」という割合が90%を超えており、他の項目に比べて大変高く、自己評価をAとした。
3	職員は、まとまりがある。	B	○ あいさつについては、昨年度と同様、保護者・教職員共に「よくできている」という割合が他の項目に比べて低かった。五ヶ瀬の家庭教育五箇条でも設定された項目であり、今後の大きな課題である。いつでもどこでも誰にでも、同じような態度をとれる力を身に付けさせたい。
4	保護者や子どもが学校生活に悩みがあって相談したとき、職員は親身に応じている。	A	○ 地域への行事に対しては、子ども達も職員も積極的に参加した。しかし、保護者アンケートでは前年度より0.1%下がっていることから、行事に参加した際に職員だけで集まるのではなく、保護者との交流を今以上に積極的に行う必要性を感じた。
5	職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るくいていねいに対応している。	A	○ 保護者アンケート調査では、いじめ防止、対処の項目において、前年度より0.3ポイント低下した。本年度は、いじめ事案が発生したためであると思われる。いじめ事案の発生の際には、迅速な対応を行い、早い段階で解決することができた。しかし、職員の自己評価の中で、いじめ防止のための対策や対応等について、さらに校内体制を充実させた方がよいという意見があり自己評価をBとした。
6	学校行事や体験活動には、地域住民や保護者が参観しやすい工夫している。	B	○ 情報公開については、保護者アンケートにおいて高い数値を得られたが、職員としては十分に伝え切れていないという思いがあったため、自己評価をBとした。今後は参観日の懇談会の持ち方や、個別面談のあり方を工夫していく必要がある。
7	子どもたちは、学校内外でしっかりとあいさつができています。【五ヶ条「あ」】	C	○ 校内の各教室や廊下における整理整頓については、まだまだ改善の余地がある。いらない物は速やかに処分し、出した物は元あった所に片付けることを徹底したい。
8	普段から教職員と保護者で交流ができています。	B	○ 授業力向上のために、全職員が年1回は研究授業を行い、県及び町教委の指導を受けながら質の高い授業を目指して実践研究を行ってきた。ただ、各種学力調査結果を利用した個人別の学力分析や、分析結果を活用した、児童一人一人の学力に応じた学習指導については、まだまだ取組の余地が残されている。
9	教職員が地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	B	○ G授業については、保護者も児童も成長につながっていると感じているが、職員の半数は、児童によってその効果に差があると感じている。学年全体の目標だけでなく、個人別の目標をもってG授業に臨む必要がある。
10	地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	A	○ G授業については、保護者も児童も成長につながっていると感じているが、職員の半数は、児童によってその効果に差があると感じている。学年全体の目標だけでなく、個人別の目標をもってG授業に臨む必要がある。
11	子どもたちのけがや病気にに対して、適切に対応している。	A	○ 一人一人の児童の実態に応じた個別指導を適切に行っている。
12	防災訓練や緊急連絡等の一斉メールなど、非常災害時の対策を講じている。	A	○ 詩を読むこと・話すこと（音読、スピーチ集会等）、書くこと（作品作り、ノート指導等）をとおして、表現力の育成に努めている。
13	学校の教育方針や重点的な取組が明確で、保護者に浸透するよう努めている。	B	○ 地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動を意図的に実施している。
14	いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・体制がとれている。	B	○ 学校行事や体験活動の目的等は、保護者に理解され、内容は充実している。
15	配付資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子を適切に公開できている。	B	○ 本校の教育活動により、子どもたちは思いやりの心が育っていると感じる。
16	職員は、学級の状態をよく把握し、教育懇談会などの保護者会において、保護者に学校・学級の様子をよく伝えている。	B	○ 読書の推進の取組により、子どもたちが読書に親しんでいると感じる。【五ヶ条「う」】
17	保護者面談等において、子どもたちの様子を保護者と共有することができている。	B	○ 危機管理体制を充実させ、家庭や地域、関係機関と連携して、安全教育の徹底に努めている。
18	学校内の掲示物を工夫するなど、児童の学習環境が整えられている。	B	○ 早寝・早起き・朝ごはん（朝大豆）、健康な歯や口腔の衛生等、健康的な生活習慣づくりのための取組に努めている。【五ヶ条「い」「え」】
19	清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	B	○ テレビやゲーム等のメディア利用の適正化に向けて、家庭と連携した取組に努めている。五ヶ条「お」】
20	諸学力調査の結果を分析・考察し、指導に役立てている。	B	○ 体力テストの得点値が対前年度比で向上している。
21	児童一人一人の学力を的確に把握し、学習指導を展開している。	B	○ 体力向上プランを、体育科学習の工夫改善に役立てている。
22	授業力向上のための研究授業や研修の充実を図っている。	A	○ 体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童生徒の体力向上にしっかりと取り組んでいる。
23	小学校相互に効果のあるG授業の実践を積み重ねている。	A	○ すこやか習慣の取組により、健康な生活習慣についての意識付けができています。
24	小学校相互に効果のあるG授業の実践を積み重ねている。	A	○ 体育指導や立腰指導により、心身の健康増進が図られている。
25	G授業は、子どもの成長につながっていると感じる。	B	
26	外部機関と連携した取組を指導に生かしている。	B	
27	各種調査結果より本校の授業等で、子どもたちの学力が向上している。	B	
28	一人一人の児童の実態に応じた個別指導を適切に行っている。	B	
29	詩を読むこと・話すこと（音読、スピーチ集会等）、書くこと（作品作り、ノート指導等）をとおして、表現力の育成に努めている。	B	
30	地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動を意図的に実施している。	A	
31	学校行事や体験活動の目的等は、保護者に理解され、内容は充実している。	A	
32	本校の教育活動により、子どもたちは思いやりの心が育っていると感じる。	B	
33	読書の推進の取組により、子どもたちが読書に親しんでいると感じる。【五ヶ条「う」】	B	
34	危機管理体制を充実させ、家庭や地域、関係機関と連携して、安全教育の徹底に努めている。	B	
35	早寝・早起き・朝ごはん（朝大豆）、健康な歯や口腔の衛生等、健康的な生活習慣づくりのための取組に努めている。【五ヶ条「い」「え」】	B	
36	テレビやゲーム等のメディア利用の適正化に向けて、家庭と連携した取組に努めている。五ヶ条「お」】	B	
37	体力テストの得点値が対前年度比で向上している。	A	
38	体力向上プランを、体育科学習の工夫改善に役立てている。	B	
39	体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童生徒の体力向上にしっかりと取り組んでいる。	B	
40	すこやか習慣の取組により、健康な生活習慣についての意識付けができています。	B	
41	体育指導や立腰指導により、心身の健康増進が図られている。	B	

【平成30年度の総括評価】

○ 保護者アンケート調査結果では、昨年度と比較し、0.2ポイント以上低くなった項目が10項目と多く、逆に0.2ポイント以上高くなった項目は0であった。内訳としては、いじめに関する項目、学習環境に関する項目、学力向上に関する項目の3つがあげられる。このことに関しては、職員も課題を感じている点であり、次年度に向けてを入れていかなければならないと感じている。

○ 職員による自己評価では、0.2ポイント以上下がった項目が18項目と約半数に上った。これは、職員の構成メンバーが転動で大きく入れ替わったことにより、各評価項目に対する認識が変わったことによるものであると考え。職員の自己評価が厳しいのは取組を充実させるためには良いことであると考え、次年度向上していることが大切であり、職員間で確認の必要がある。

○ あいさつについては、学校外においても「いつでも どこでも だれにでも」が実践できるよう、指導の継続が必要である。

○ 学力向上のための授業改善やG授業での取り組み、学力向上タイム等の効果的な活用に加え、個別指導を充実させ、子ども達の基礎的・基本的な学習内容の定着をさらに高めていきたい。